

キャラクター名  
小林 龍也

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル パロール		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	
	オプション		年齢	24	性別	男
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率	31	%
出自	義理の両親	経験	喪失	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	4		調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
特殊プラスチックシールド	白兵	3r-1	4	1		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 1    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
亜純血(カズリド専用)	P	N		
義理の親	P 幸福感	N 悔悟		
保護者(霧谷雄吾)	P 尊敬	N 不安		
ウォークラフト	P 執着	N 憎悪		
竜川 勇児	P ビジネス	N 不安		
金澤 めぐみ	P 感服	N 不安		
小原 翠	P 庇護	N 憐憫		

最大財産P: 6    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: ダメージロールの直前に使用する。1メイプレイスに1回カバリング可能。								
命のカーテン	3	4	オート	至近	自身	自動		
効果: 崩れずの群れの直前に使用する。カバリングの距離が10mになる。シナリオLv回								
守護者の巨壁	1	6	オート	視界	効果参照	自動	リミット	
効果: 誰かが行う攻撃の判定の直前に使用する。その攻撃対象をあなた一人に変更する。1シナリオ1回。								
時の棺	1	10	オート	視界	単位	自動		
効果: 誰かが行う攻撃の判定の直前に使用する。その判定は失敗する。自動成功するものには使用不可。1シナリオ1回まで。								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果参照	自動		
効果: あなたを対象に含む対象: 範囲、または対象: 範囲(選択)の判定の直前に使用する。その攻撃の対象をあなた一人に変更する。								
デモンズウェブ	5	2	オート	10m	単体	自動	80%	
効果: 対象へのHPダメージが算出された直後に使用する。対象が受けるHPダメージを-(Lv+1)D点する。1ラウンド1回。								
がらんどうの肉体	1	3	オート	至近	自身	自動		
効果: あなたへのHPダメージが算出された直後に使用する。あなたが受けるダメージを-(Lv+2)Dする。1ラウンド1回。								
帝王の時間	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

今でも思い出す。両親と3人で出かけた家族旅行。楽しい思い出になるはずだった・・・だがそれは地獄に変わった。突然体に走る衝撃。車の前に突如現れた異形の怪力によって殴り飛ばされひっくり返り炎上する車。自分は車の外に投げ出され奇跡的に無事だったが、両親は炎に包まれた車の中で・・・そして異形と目が合う。どうして・・・?なんでこんな目に・・・あんなにやさしかった父さんと母さんが死ななきゃいけないの?どうして自分は今殺されそうになっているの?どうして?そうして異形の腕が自分に振るわれる直前に視界が真っ赤に染まった。次に記憶にあるのは異形の死体と血だらけの自分。いつの間にか伸ばした腕から更に伸びる異形の腕によって串刺しになった異形の姿だった。そして意識が途絶えた。次に気が付いたときには病院の真っ白な天井だった。

それからしばしの時間が流れた。あの事件の後、自分を引き取ってくれた義理の両親のもとで生活している。自分の力はその忌々しい記憶の中に残る異形(ジャーム)と同じネゲイドウイルスによるものであること。それを制御する者たちのことをオーヴァードと呼ぶこと。色々なことを知って学び、戦いの日々を身を投じる決意をした。そして今自分は支部長の立場にある。自分の力は誰かを守るためのもの。他のオーヴァードの人達のように敵を倒すことは出来ないけれど、自分の手の届く範囲にあるものは守りたい。その為に今日も私は支部長室で書類と戦う。次の戦場に備えるために。